（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	とこキッズ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～	令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～	令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	17	（回答者数）	17
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の障害を十分理解し、児童の特性に応じた専門性のある支援が受けられる。	楽しく得意なことを中心に興味を持って活動が積極的に行えるように工夫している。	児童発達支援に関する研修を積極的に行い質の向上を図るようにする。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないように工夫されている。	活動プログラムが固定化されないように研修を行ったり様々な意見を取り入れるようにしている。	活動内容の質の向上を図り豊かな活動プログラムを作成していく。
3	季節を通した療育を行っている	保育士、児童指導員を中心に、気切を意識した政策やイベントの取り組みを提案してもらっている。 また、それ以外のスッタフ（看護師等）を積極的に療育に参加している	毎月イベントの計画を行う。また保護者にも参加しやすいイベントの提案を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている。	保護者，兄弟参加のイベントを持ちきょうだいもたくさん参加し好評をいただいている。今後も引き続き保護者、きょうだい参加のイベントを継続しきょうだい支援をしていきた い。	感染症対策をしながらきょうだいが参加しやすい内容、場所のイベントを検討開催していく。
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明する。また、発生を想定した訓練が実施す る。	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定、運用しているが、保護者に周知・説明が十分できていない。	現在策定、運用している各種マニュアルを保護者に周知説明していく。
3	定期的に社会見学や、お出かけする場合	医療ケアが多いため、外出が難しい。特に、寒い時など体調を崩しやすいため、出かけにくい。 （寒い時期は、外出を希望されない方もみえる）	更にスタッフを増やすことにより、安心して外出する機会を増やしていきたい